

夏瀬の森

だより

令和四年一月二十五日 第九十四号

田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

恭賀新年

令和四年（紀元二六八二年）の壬寅（みずのえとら）の年頭に当たり謹んで皆様のご平安をお祈りいたします。

私たちは毎年、「元旦になると「明けましておめでとう」と家族や友人同士でお祝いの挨拶を交わします。「明けましておめでとう」の「明け

には、これまでの状態が終わると同時に新たな状態が始まるという意味があり、令和四年、澄んだ空気が打ち払われ、明るく清々しい年になることを切に願います。



しめ縄の掛け替えや門松づくり、提灯や火の準備をし、境内の清掃の方々は吉兆笹の作成や境内の清掃の奉仕をしてくださいました。

以前のようになにがよいか、お正月をお祝う前に、この郷の平穏



と発展を祈り続ける所存です。ぜひ、皆様も神様に手を合わせて共に祈りください。本年もどうぞよろしく願います。

冬のお祭り

新嘗祭と絵馬掛け替え



十二月十一日、冬祭りを執り行いました。冬祭りは新嘗祭の祝詞を奏上し農作物の収穫を感謝いたします。本来、新嘗祭は十一月二十三日（勤労感謝の日）に新穀を御供えし、当社では冬祭りに併せて採りたてみかん

もお供えして行います。また前日には絵馬の掛け替えを行いました。今年には給馬の掛替えが行いました。今年には給馬の掛替えを行いました。今年には給馬の掛替えを行いました。今年には給馬の掛替えを行いました。今年には給馬の掛替えを行いました。

新成人を氏神様にご紹介

一月九日、成人奉告祭を執り行いました。成人奉告祭を執り行いました。成人奉告祭を執り行いました。成人奉告祭を執り行いました。



岡君が代表で玉串を奉奠し、新成人たちが揃って柏手を打ち拝礼をしました。柏手を打ち拝礼をしました。柏手を打ち拝礼をしました。柏手を打ち拝礼をしました。



旧来より奉告祭という形で続いてきた田殿丹生神社の成人式を、これからは末永く勤め、一緒に祝いさせていただきます。

田殿っ子の必勝・健康を祈る

今年も元気な球児の新年のご祈禱をさせていただきます。身体と心を鍛えて一生懸命に技を懸命に見るの姿が、あつちよく、少子化が加速する中で指導にあたられていの方々には、ご苦労も多いことかと思えますが、心から感謝申し上げます。子どもたちの健闘をお祈りします。



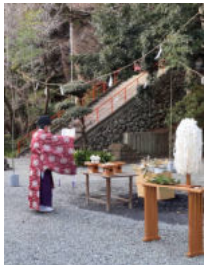
粥占い神事 祈 農業発展

一月十五日未明、粥占い神事を執り行いました。深夜に江戸時代から伝わる鉄釜にて神殿の脇で小豆粥を焚き、その中の竹筒の中に入る小豆粥の量で米や柑橘の収穫を占いました。今年も各竹筒にはお米も小豆も多く入っており、多量に収穫が望めます。近年は気象状況に様々な変動があり、農業は色々なところからデータを収集し、対策を取らねばならない時代になりました。氏神様の力をいただき、皆の知恵を集めてこの地の農業がさらに発展することを祈ります。



感謝 御礼の 焚き上げ式

同日午後三時から古いお札やお守りを納める「焚き上げ式」を行いました。おまつりいただいた吉兆笹やお守り、お札などを、総代様



方のお手伝いのものと、心を込めて感謝のご祈禱をいたしました。焚き上げさせたいとき、おそらく賜った時節、お納めできなかつたので、寺にも多く見受けられました。寺社に代わって焚き上げさせていただきますが、ご自身の感謝を伝えるためにも、機会をお作りになってお礼のお詣りをさせていただきます。また、お寺で賜ったお札等は、お寺の方にお納めいただくと思います。



「火」の恵を感謝し 災いを除ける鎮火祭

十二月一日早朝六時より、月次祭にあわせて「鎮火祭」を執り行いました。この郷をお守りくださる消防団の方々にご参列いただき、火の恵に感謝すると共に、火の災いが起きないことを祈願し、各御家庭に「火の用心」のお札をお配りさせていただきました。

厄年について

厄年の年齢は、人の一生の中でも社会的に家庭環境、転機を迎える厄が起きます。厄除けの祈りを

令和4年 厄年表

男性		
前厄	本厄	後厄
24歳 (平成11年生)	25歳 (平成10年生)	26歳 (平成9年生)
41歳 (昭和57年生)	42歳 (昭和56年生)	43歳 (昭和55年生)
60歳 (昭和38年生)	61歳 (昭和37年生)	62歳 (昭和36年生)
女性		
前厄	本厄	後厄
18歳 (平成17年生)	19歳 (平成16年生)	20歳 (平成15年生)
32歳 (平成20年生)	33歳 (平成19年生)	34歳 (平成18年生)
36歳 (昭和62年生)	37歳 (昭和61年生)	38歳 (昭和60年生)

※数え年は、誕生日前の場合は2歳、誕生日を迎えている場合は、1歳を足して計算します。

ホームページへもお越し下さい

